

データ処理ソフト マニュアル

1. 概要

1.1 ソフトウェアの概要

本ソフトウェアは、SVD-214/215 内の RION 製騒音計／振動計により、メモリーカードに記録された統計値データ（Au2 形式）を読み取り、日報として表及びグラフを作成するものです。

1.2 動作環境

コンピュータ	Microsoft Windows98/Me/2000/Xp が動作し、メモリーカード（CompactFlash™）のデータが読み込み可能なパソコン。
OS	Microsoft Windows98/Me/2000/Xp（日本語版のみ）
騒音計	SVD-214/215/250 搭載 NL-21
振動計	SVD-214/215/250 搭載 VM-53A
プリンタ	カラープリンタを推奨。用紙は A4 のみ。

1.3 インストールおよび起動方法

(1) インストール

インストール CD に入っている SvAu2P.exe を任意のフォルダにコピーしてください。

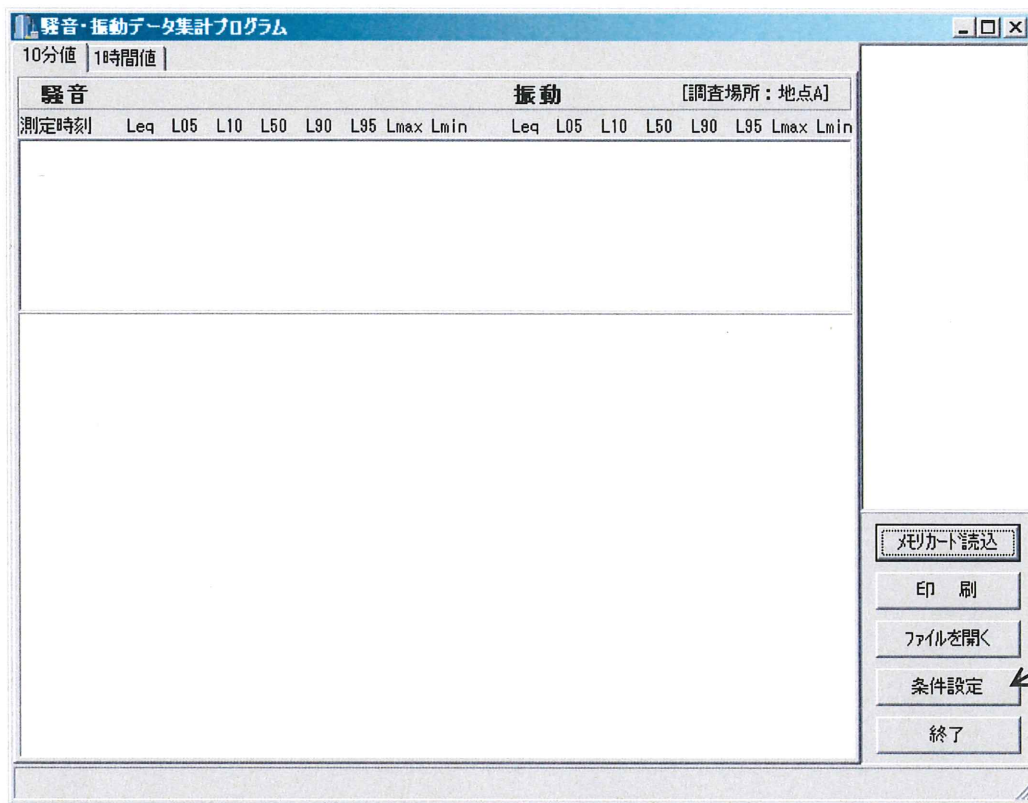
(2) ソフトウェアの起動

メモリーカードからデータを読み込む場合は、本ソフトの起動前にメモリーカードをパソコンにセットしてください。

メモリーカードがドライブとして認識されてから、デスクトップ上の「SvAu2P.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

2. 操作方法

ソフトウェアを起動すると、次の画面が表示されます。



画面 1 起動時の画面

2.1 条件設定

最初に、ソフトウェアの初期設定を行います。

画面 1 の「条件設定」ボタンをクリックしてください。次の画面 2 が表示されます。

(1) 地点名の入力 (画面 2-①)

地点名を入力してください。日報の「地点名」欄にこの名前が表示されます。

(2) 保存先フォルダの設定 (画面 2-②)

本ソフトでは、メモリーカードから読み込んだデータを日別に分けてハードディスクに保存します。「参照」ボタンをクリックして、保存先のフォルダを指定してください。

保存されたデータは、起動時の画面 1 の「ファイルを開く」で、いつでも表示することができます。

(3) 会社名の入力 (画面 2-③)

会社名を入力してください。日報の「会社名」欄にこの名前が表示されます。

(4) Y 軸設定 (画面 2-④)

統計値グラフの Y 軸の最大/最小値を設定してください。

(5) 統計値の表示項目設定 (画面 2-⑤)

表示する統計値の項目 (L5, L10, L50 等) をチェックしてください。

(6) 規制値の設定 (画面 2-⑥)

規制値の dB 値、名称を入力してください。

(7) 表示時間設定 (画面 2-⑦)

a) マニュアル設定の場合

表、グラフの、表示開始時間、終了時間を設定してください。

b) 自動設定の場合

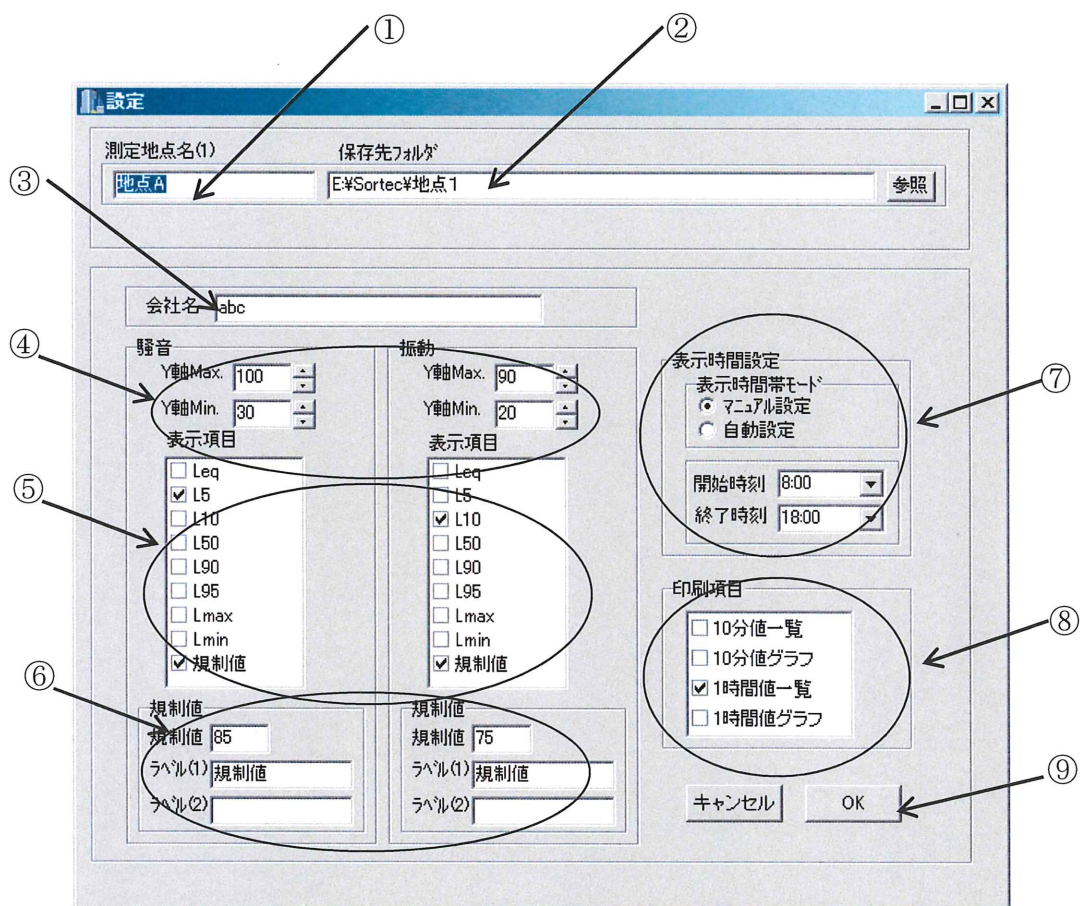
日別に、データのある時間帯を自動設定します。

(8) 印刷項目 (画面 2-⑧)

10 分値/1 時間値と、表/グラフについて、印刷する項目にチェックをいれてください。

すべての設定が終わったら、「OK」 ボタンをクリックしてください。起動時の画面に戻ります。

ここで設定した値はハードディスクに保存され、次回以降の起動時には、自動的にこの設定が有効になります。設定に変更がない限り、条件設定を行う必要はありません。



画面 2 条件設定画面

2.2 メモリーカードの読み込み（最初に騒音のデータを読み込む場合の例）

(1) プログラムの起動前に、メモリーカードがセットされていることを確認してください。

(2) 画面1の「メモカード読み込み」ボタンをクリックすると、画面3が表示されます。

①をクリックして、メモリーカードのドライブを選択してください。

(3) ②の「カード読み込み」ボタンをクリックしてください。

(4) 画面4のウィンドウ(A)にメモリーカードのデータ名が表示されます。

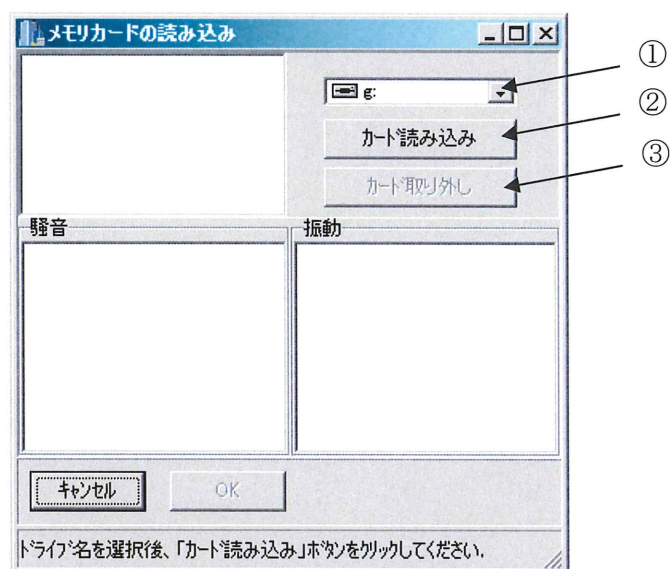
ウィンドウ(B)に騒音の測定データの日別一覧が表示されます。

(5) 「カード取り外し」ボタン③をクリックしてからメモリーカードを抜いてください。

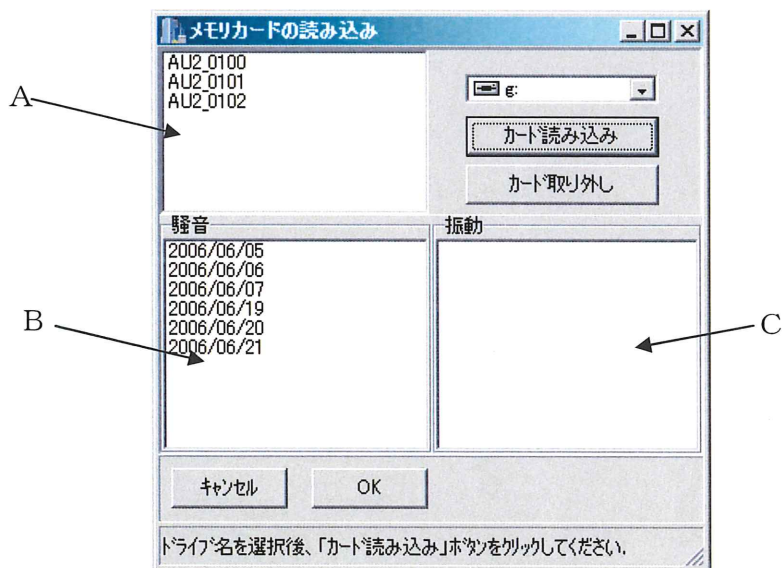
(6) 振動のデータがある場合は、振動用メモリーカードをセットしてください。

カードのドライブが認識されたことを確認後、手順(3)～手順(5)を実行してください。

(7) 「OK」ボタンをクリックすると、起動時の画面に戻り、入力されたデータが表示されます。



画面3 メモリーカード読み込み画面(1)

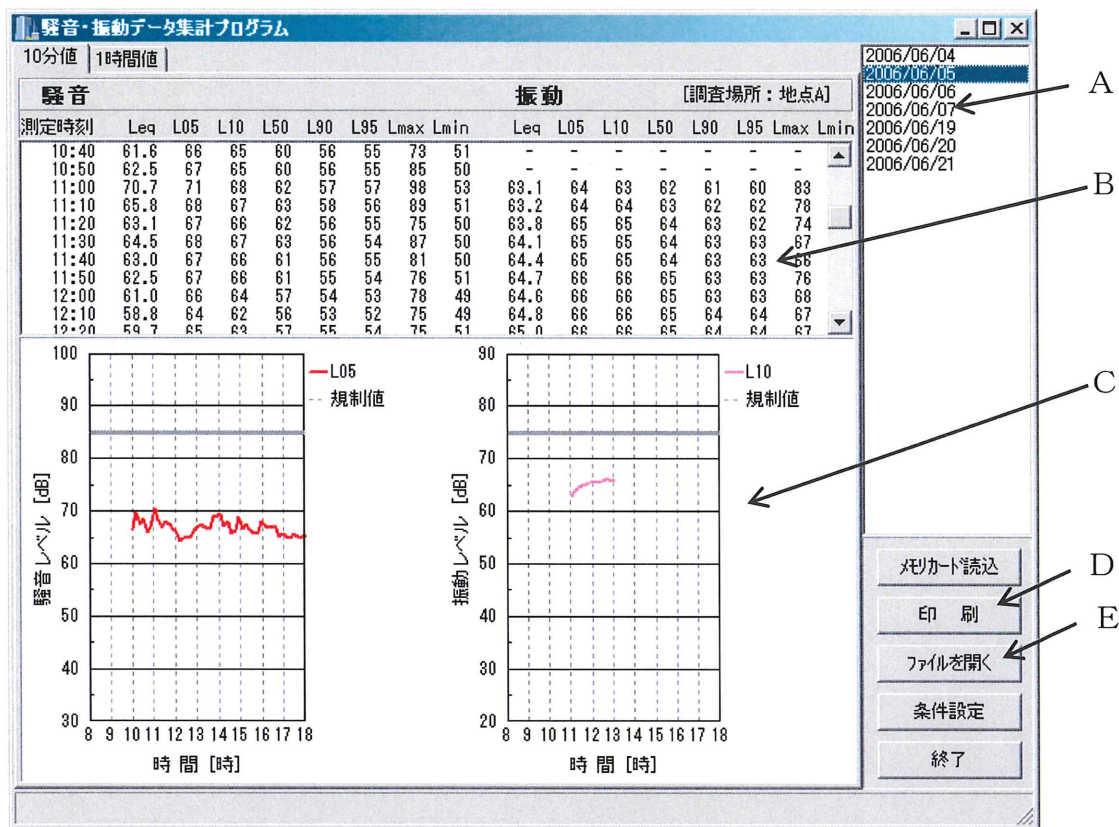


画面3 メモリーカード読み込み画面(2)

2.3 データの表示

メモリーカードから入力したデータが表示されます。

- (1) 画面右上のリストボックス (A) をクリックすることにより、表示する測定日を指定できます。
- (2) 画面上部のリストボックス (B) には、統計値が一覧表示されます。
- (3) 画面下部のグラフエリア (C) には、統計値の時刻変動グラフが表示されます。



画面5 データ表示画面

2.4 印刷

指定した測定日の表、グラフを印刷します

- (1) 印刷する内容は、「条件設定」の画面 2-⑧ で指定した項目となります。
- (2) 印刷する測定日は、画面 5 のリストボックス (A) で指定した日となります。

複数の測定日を選択しておく、一度にまとめて印刷できます。

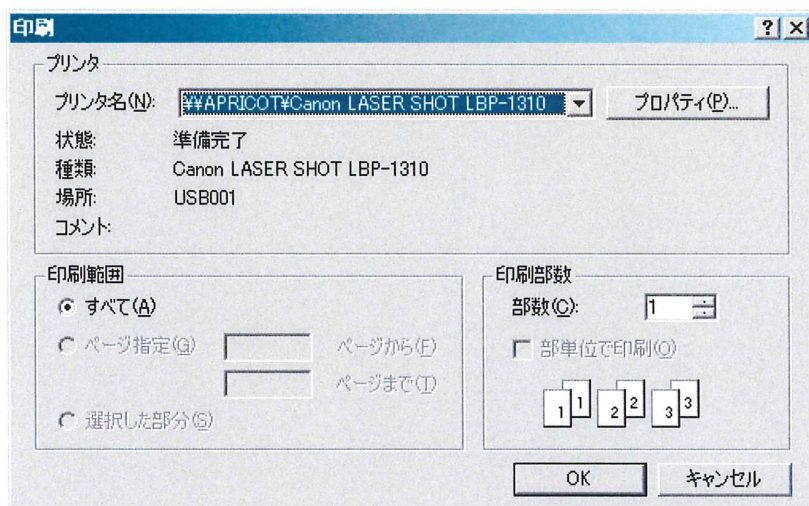
キーボードの「Shift」キーを押しながら、(A) のリストボックスをクリックすることで、連続した複数の測定日を選択できます。

キーボードの「Ctrl」キーを押しながら、(A) のリストボックスをクリックすることで、個別に複数の測定日を選択できます。

- (2) 画面 5 の「印刷」ボタン (D) をクリックしてください。印刷ダイアログ (画面 6) が表示されます。

使用するプリンタの機種、印刷設定を確認してください。

画面 6 の「OK」ボタンをクリックすると印刷が実行されます。



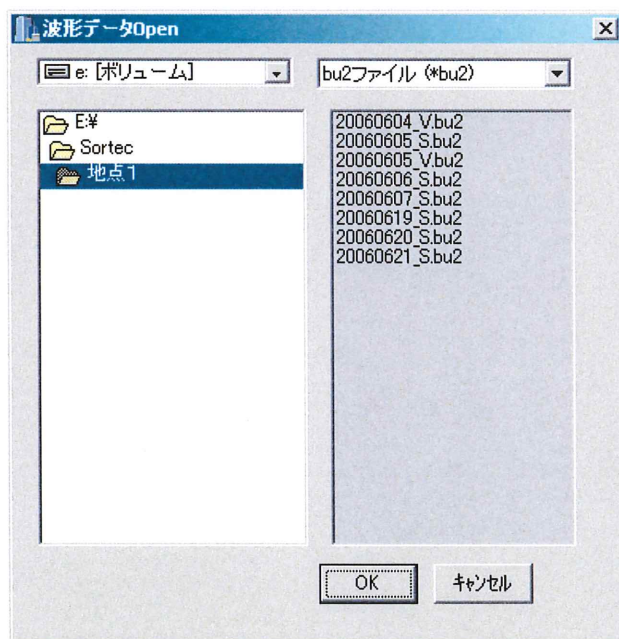
画面 6 印刷設定画面

2.5 保存したファイルを表示する

メモリーカードから入力したデータは、「条件設定」で設定した「保存先フォルダに、測定日順に、自動的に保存されます。保存されたデータは、カードから読み込んだ場合と同じように表示、印刷することができます。

画面 5 の「ファイルを開く」(E) ボタンをクリックしてください。次の画面が表示されます。

通常は、そのまま「OK」をクリックすると保存されていたデータが表示されます。別のフォルダにデータを保存している場合は、そのフォルダを指定してください。



画面 7 データフォルダの指定画面

3. その他

3.1 複数の測定地点がある場合

本ソフトを複数のフォルダにインストールすることにより、複数の地点のデータを処理することができます。

- (1) 本ソフトを、地点数だけインストールしてください。

このとき、インストール先として、異なるフォルダを指定してください。

デスクトップに地点数分のアイコンが表示されますので、地点の区別がつくように、アイコンの名前を変更してください。

- (2) 地点別にソフトを起動して、「条件設定」の「地点名」と「保存先フォルダ」が、地点ごとに異なるように設定してください。

3.2 メモリーカード入力時の注意

- (1) あらかじめ、メモリーカードのドライブ名を、「マイコンピュータ」等で確認しておいてください。
- (2) 1枚目のカードを入力し、カードを抜いた後、「xx:¥は利用出来ない場所を参照しています...」等のエラーメッセージが表示される場合がありますが、無視してください。
- (3) 2枚目のカードをセットした後、カードが認識されるまで、少し時間を置いてから「カード読み込み」ボタンをクリックするようにしてください。カードが認識されるまでに数十秒かかる場合があります。
- (4) メモリーカードのドライブがうまく認識されなくなった場合は、一度カードを抜いて、本ソフトを終了してください。その後、あらためてメモリーカードをセットし、少し時間をおいてから本ソフトを起動してください。